

《The Best Topics 8月号》

【中学部】 ～ 平成30年度都立高校入試の平均点を振り返る ～

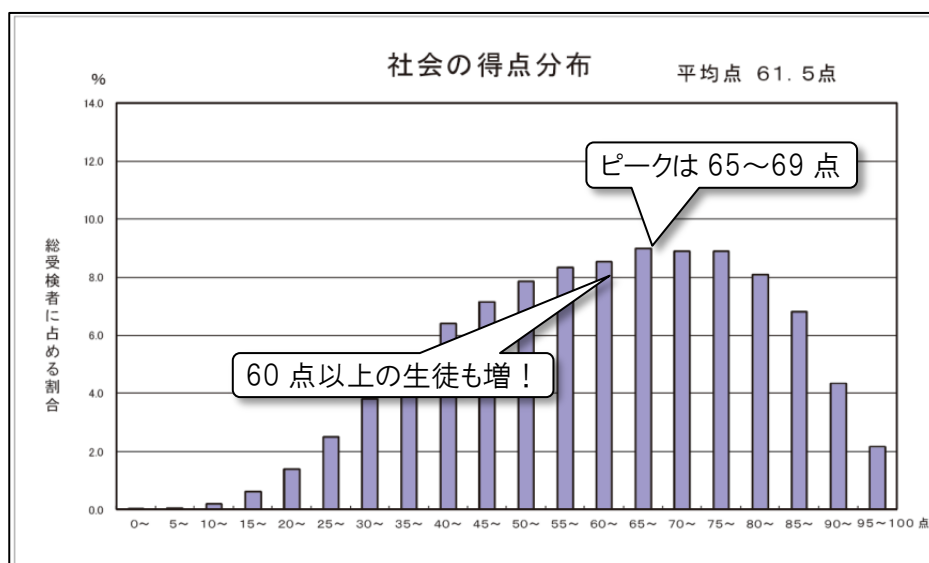
6月下旬に、東京都教育委員会から『平成30年度都立高校入試に関する調査報告』が発表されました。まず、結果としましては下表の教科別平均点をご覧ください。H28年度から H29年度においては5教科とも平均点の大きな(5点差以上の)変動は見られませんでした。今回(H29年度から H30年度)はかなりの変動がみられました。

教科別平均点

教科	国語	数学	英語	社会	理科
H30年度	65.9点	66.5点	68.0点	61.5点	61.5点
H29年度	(69.5点)	(56.3点)	(57.8点)	(58.6点)	(55.9点)

今年特に気になった教科としましては社会と理科です。

社会は下の得点分布を見てもわかりますように、階級のピークが(昨年の55点～59点から)65点～69点に移るとともに、60点以上の受検者の割合が増加した点です。やや易化したとも考えられます。ただ、問題は出題傾向です。昨年度まで(全て答えがそろっていて得点がもらえるといった)完全解答方式の問題が5問だったのに対して今年度は7問も出題されていました。右ページの表の小問正答率の太字がその問題になります。大問3の間1を除けば60%を下回っていて、だいたい50%程度。つまり2人に1人は間違える問題となっています。大問6の間1については4人に3人は間違えてしまう割合で、問題としては総合問題でしたが、地理と歴史の両分野

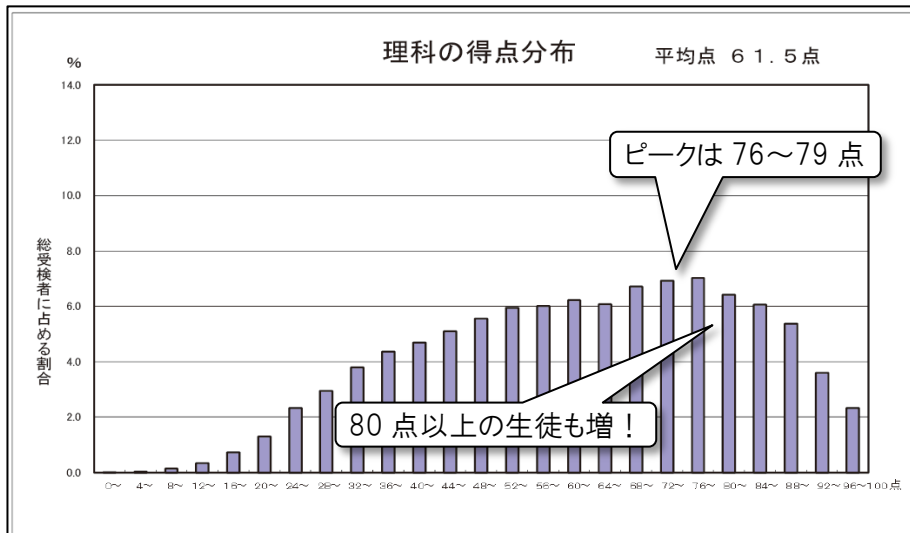


大問	小問	小問 正答率	大問 正答率
1	〔問1〕	95.7%	65.9%
	〔問2〕	28.4%	
	〔問3〕	73.5%	
2	〔問1〕	53.8%	45.6%
	〔問2〕	38.8%	
	〔問3〕	44.2%	
3	〔問1〕	75.7%	72.4%
	〔問2〕	75.1%	
	〔問3〕	66.5%	
4	〔問1〕	41.6%	52.1%
	〔問2〕	62.4%	
	〔問3〕	58.5%	
	〔問4〕	45.8%	
5	〔問1〕	94.5%	72.0%
	〔問2〕	78.1%	
	〔問3〕	60.2%	
	〔問4〕	55.3%	
6	〔問1〕	24.4%	38.8%
	〔問2〕	59.4%	
	〔問3〕	32.5%	

を意識していないと解けないような問題でした。ただし、きちんと勉強していれば解ける問題というのも事実で、『単なる暗記教科だし、直前に詰め込めばなんとかなるでしょ。』と高を括っている入試当日に痛い目に合うことになります。また、問題自体も図や表が多用されており、読解力の他にそういった資料を読み込む力も問われるようになってきています。これは短時間で身に付くものではありませんから、夏期講習などを利用して長期的に訓練をしていく必要があると思います。さらに普段の自学自習でも資料集や地図帳もあわせて学習することが大切です。

理科についての分布は下のグラフをご覧ください。理科についても社会と同様で、用語の知識だけ

でなく資料集はもちろん、実験の過程や考察、対照実験の意味までしっかり復習しておくことが大切です。今年度の入試では大問4が植物の光合成の対照実験が出題されていましたし、大問6では電流と磁界からの出題で、やはり電磁誘導の実験をしっかり理解した上での考察が必要とされる問題となっていました。



数年前に話題になった“1.01の法則”。1.01のようなちょっとした努力でも365日積み重ねると大きな力になる、少し大げさかもしれませんが『ちりも積もれば山となる』ということです。中3生は2月まであと約半年。不安な人はすぐに相談して下さい。